

1. 雨水を使って野菜や植木に水やりを行ない、水道水の節約（節水）ができた。



各家庭で使用していた「貯槽タンク」を利用して、雨水をこのタンクに溜めて、今まで水道水を使って、畑の野菜や植木などに水まきをしていたが、これに変わり『貯槽タンク』に溜まっている水を利用して、水の節約を行なっている。かなりの効果はある。水道水の料金が月10,000円位かかったのが、半分の5,000円位まで下げることが出来ました。

沖縄は大きな川が無く以前は結構高頻度で断水がありました。断水は最初、夜だけ8時間断水し、昼間は水が出る8時間断水から始まり もっと厳しくなると1日おきに水が出る24時間断水になりました。貯水タンクがあると、断水になってもすぐには水が無くならず 節約すると結構水が使えるのです。タンクが普及してからは8時間夜間断水では、実質効果は薄くなってしまったのです。なお最後の断水は平成5年です。平成12年に大きな羽地ダムが出来 その後大保ダム、億首ダムが完成し以降は断水は発生していません。

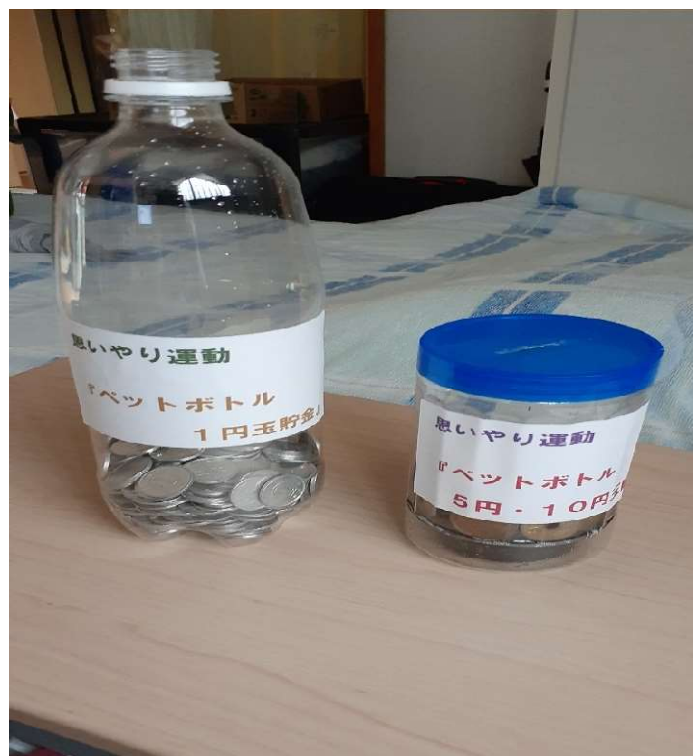
そのために、屋上の貯蓄タンクは必要がなくなり、リニューアルする折には、貯蓄タンクを取り外す家庭が多くなりました。その有効活用として考えられたのが、雨水貯水でした。貯水タンクには、5～6トンの雨水を溜めることができました。

2. 社会貢献事業（個人+友の会）

（1円玉ペットボトル預金：空きボトル容器を使った募金活動）



（3時間で4,365円の募金）



（自宅の2Fを活用した、モーニングカフェオープン）

週1回開催（コーヒー・トースト・生野菜）セルフサービス
利用者は一人300円寄付する。



昨年10月オープンして、12月までの寄付金
10,550円になった。



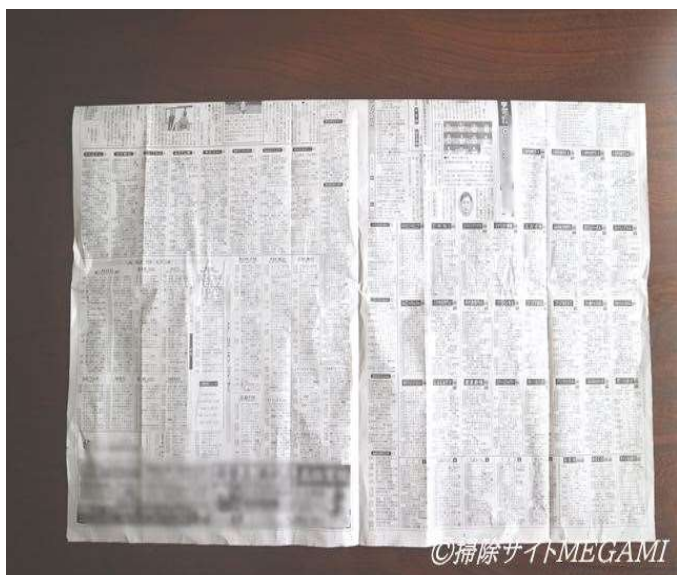
『SDGs 第1回勉強会 参考資料③』

新聞紙「縦長ゴミ箱の作り方」

最後に、縦長BOXの作り方をご紹介します。

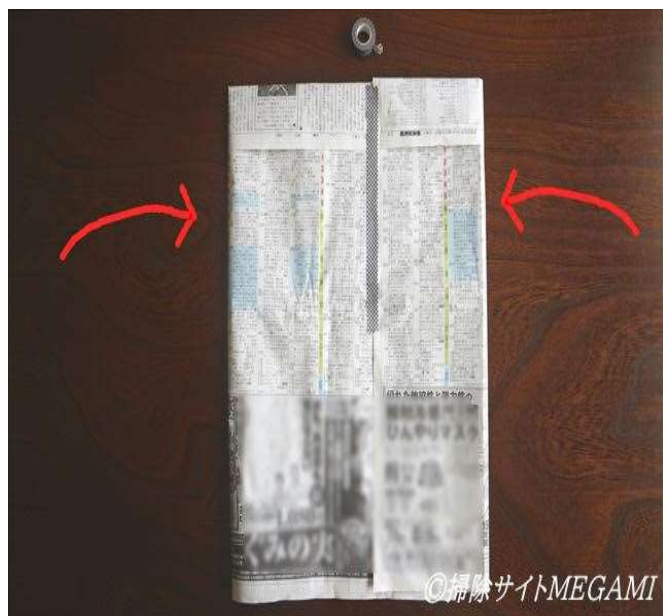
新聞紙で「大き目の自立したゴミ箱」を作りたい方におススメです。

縦長BOXの作り方



新聞を開きます。

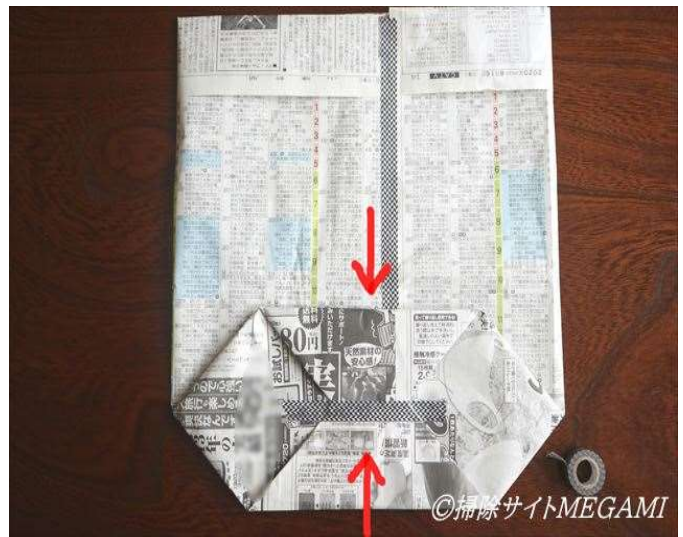
上の部分は、好きな幅に折っておきます。



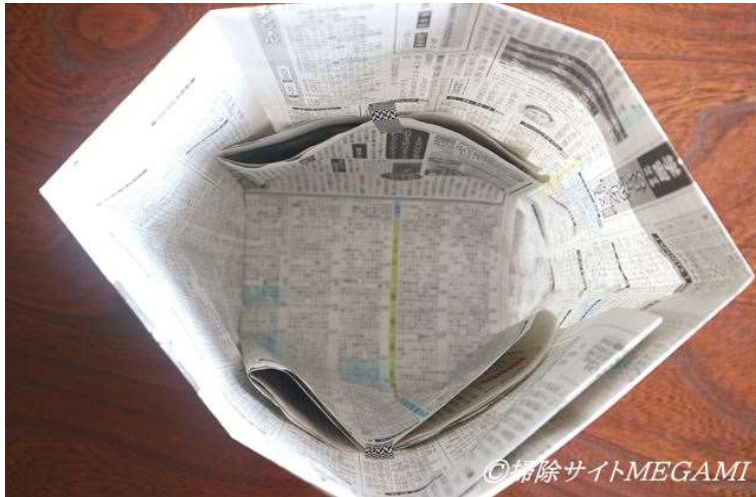
両端を中に折り、テープで止めて筒状にします。 下の部分を中に折ります。



開いた部分を重ねるように折り、テープでしっかり止めれば完成。



※ここは底の部分になるので、隙間がないようにしてくださいね。



中に「コの字に折った新聞紙」を入れると、安定度UP。

(掃除サイト MEGAMI よりの提供)

【完成品：活用事例】



SDGs 実行宣言

『できることから コツコツと』

沖縄歩愉の会
林 光 夫